

日本 EMDR 学会第 6 回学術大会、及び

「地震津波災害被災者への EMDR 適用」ワークショップ（継続研修）のご案内

第 2 号通信改訂版（参加者募集のお知らせ）

東日本大震災に被災されたみなさまにこころよりお見舞い申し上げます。

さて、東日本大震災の発生に伴い第 6 回学術大会とワークショップの内容を一部変更致しましたので、第 2 号通信改訂版をお届けします。会期は 2 日間に短縮されました。また、2 日目は災害支援に特化した内容になっています。

日時：学術大会：2011 年 5 月 13 日（金）9:30～17:45（受付 9:00～）

一般演題、教育講演「虐待が関与する発達障害について」、震災関連特別セッション「EMDR を用いた災害支援の方向性：JAPAN-HAP 立ち上げ」

継続研修：2011 年 5 月 14 日（土）9:30～17:30（受付 9:00～）

「地震津波災害被災者への EMDR 適用」

懇親会：2011 年 5 月 13 日（金）18:30～20:30

場所：学術大会及びワークショップ（継続研修）：**飯田橋レインボービル**（大会議室，C 会議室，D 会議室）

〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 <http://www.ienohikariss.co.jp/bld/index.html>

TEL：03-3260-4791 FAX：03-3267-8419

（JR 総武線・地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線 「飯田橋駅」徒歩 5～7 分）

懇親会会場：日本出版クラブ会館（鈴木伸さんのジャズバンド「J J Drop」の生演奏を予定しています）

〒162-0828 東京都新宿区袋町 6 <http://www.shuppan-club.jp/index.html> TEL 03-3267-6111

（JR 総武線・地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線 「飯田橋駅」徒歩 7 分）

注：宿泊はご自身でご手配下さい。

参加申し込み：2011 年 4 月 28 日（木）締切。継続研修は Part2 修了者を優先します。

1) 参加申し込みはメールまたは FAX に下記の項目を記入し、大会事務局あてに送信の上、参加費をご入金ください。

氏名、住所、電話番号、所属、参加費内訳

送信先：Mail:emdr6@hotmail.co.jp FAX：03-3961-5265

2) 継続研修参加希望の Part1 修了者は参加希望のみをメールにてご連絡下さい。28 日時点で定員に余裕があった場合、お申し込み順に参加の可否をご連絡しますので、その時点でご入金下さい。

3) 岩手県、宮城県、福島県に住居、もしくは職場がある方は被災関連者割引を適用します。

4) 今大会では、非会員の参加枠を 30 名設けています。非会員の学会参加にはメールまたは FAX での事前審査の申し込みが必要となります。参加可否の連絡後にご入金をお願いします。

参加費：学術大会参加費 会員 8,000 円（当日参加 9,000 円）、被災関連者 4,000 円、非会員（社会人 9,000 円、学生 5,000 円）。継続研修参加費 会員 8,000 円、被災関連者無料、非会員は参加できません。ただし、学術大会＋継続研修の事前申込は 15,000 円となります。懇親会は会員及び非会員 6,000 円、被災関連者 3,000 円。

振込先は、みずほ銀行十条支店（支店 No. 200）普通預金口座番号 1926104

口座名 日本 EMDR 学会第 6 回学術大会準備委員会 福井至

別紙を参考に入金をしてください。

※学術大会事務局（東京）と学会事務局（兵庫）のメールアドレスは異なりますのでご注意ください。

学会参加資格：日本 EMDR 学会会員、及び非会員の場合、精神科、心療内科、小児科の医師または、臨床心理士。または、臨床心理士養成指定大学院在学の大学院生

ワークショップの受講資格：日本 EMDR 学会会員（Part 2 修了者を優先します）

定員：280 名（学会）、50 名（懇親会）、250 名（継続研修）

注：ワークショップは臨床心理士の継続研修としてポイント申請の予定です。学会、及び継続研修は日本精神神経学会の精神科専門医のポイントを得る機会に認定されています。

【問い合わせ先】 〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1

兵庫教育大学発達心理臨床研究センター 市井研究室内 日本 EMDR 学会事務局

Tel & Fax: 0795-44-2278 e-mail: info@emdr.jp

5月13日（金）15:20-16:20

教育講演（飯田橋レインボービル、大会議室）

「子どもとトラウマティック・ストレス：発達の視点から」

講師：紀平省悟先生

司会：白川美也子

講演者：紀平省悟先生（有田市立病院小児科医長）

紀平省悟先生は、和歌山県立医科大学を卒業後、同大学での研修を経て、同大学紀北分院と紀南総合病院において小児科医員として勤務されました。その後、国立武蔵療養所（現 国立精神神経センター）にて小児神経科レジデントとして臨床研修をされ、同センター微細構造研究部で先天性筋ジストロフィ症の組織病理学の研究をされました。その後、和歌山県立医科大学小児科助手（新生児集中治療室勤務）、有田市立病院および済生会有田病院小児科勤務を経て、平成17年4月より有田市立病院小児科医長を務めていらっしゃいます。紀平先生は小児科学、小児神経学、心身症などを専門にされています。また、神経疾患、てんかん、筋疾患、発達障害、心身症、児童精神科との近接領域の治療を得意とされています。

5月13日（金）16:30-17:45

震災関連特別セッション（飯田橋レインボービル、大会議室）

「EMDRを用いた災害支援の方向性：JAPAN-HAP 立ち上げ」

3月11日の東日本大震災では、4月6日時点で12,000人以上の人命が失われ、未だに行方不明の方が15,000名もいらっしゃり、16万人の方が避難されています。多くの方が親しい、大切な方を亡くされました。また、大切な町並みや家や思い出の品をなくした方は数えきれません。住み慣れた土地や友人と離れなければならなかった人や子どもたちも沢山います。町が破壊される様、人が死に行く様、死体を目撃した人や子どもがいます。

EMDRは、これまで世界各地でこうした災害の被災者に用いられ、効果を上げてきました。EMDR-HAP（EMDR人道支援プログラム）は、寄付を元に成り立っている世界的なボランティアな組織です。登録している世界中のEMDR臨床家は1年間に2週間、無給でトレーニングや臨床活動を行うなどして、世界中の自然災害被災者、内戦などによる難民キャンプの避難民などへの支援を行ってきました。

この度の東日本大震災においても、EMDR-HAPはいち早く支援の申し出をしてくれています。何度かの国際的なSkype会議を重ね、彼らの金銭的支援、人的支援を有効に活用するための方法を模索しています。日本EMDR学会の800名余の会員の中にもご自身の力を是非支援に役立てたいと考えている方がいらっしゃると思います。今の被災地の現状を知り、EMDRを用いての支援の方向性、方法、環境について議論できたらと考えています。

5月14日（土）9:30-17:30

継続研修（飯田橋レインボービル、大会議室）

「地震津波災害被災者へのEMDR適用」

地震津波被災者へのEMDR適用の方法について学びます。集団へのEMDR適用について、また、より最近の出来事への介入方法について、講義、ビデオと実習を交えて学びます。

講師：日本EMDR学会理事（EMDR-HAPメンバーの支援を受けて）

1. EMDRと集団への初期介入手続き

EMDR and Early Intervention Procedures for Groups

(ビデオ教材はメキシコの Ignacio Jarero 提供)

2. 最近のトラウマエピソードプロトコル：初期 EMDR 介入のための統合的プロトコル

The recent traumatic episode protocol(R-TEP): An Integrative Protocol for Early EMDR Intervention(EEI)

(ビデオ教材はイスラエルの Elan Shapiro 提供)

教材：

Book Chapters

・ EMDR Scripted Protocols : Basic and Special Situations, (Ed.)Marilyn Luber, PhD , 2009, Springer より

第 20 章 Recent Traumatic Events Protocol (最近の外傷出来事プロトコル)

第 27 章 The recent traumatic episode protocol(R-TEP): An Integrative Protocol for Early EMDR Intervention(EEI) (最近のトラウマエピソードプロトコル：初期 EMDR 介入のための統合的プロトコル)

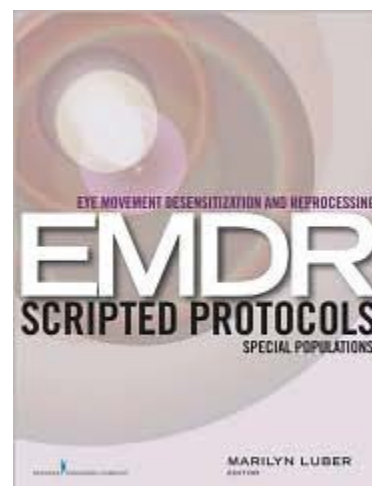
第 28 章 Emergency Response Procedures (救急反応の手続き)

第 29 章 EMDR and Early Intervention Procedures for Groups (EMDR と集団への初期介入手続き)

第 34 章 EMDR and Clinician Self-Care (EMDR と臨床家セルフケア)

・ EMDR Scripted Protocols : Special Populations, (Ed.)Marilyn Luber, PhD , 2010, Springer より

第 1 章 The Butterfly Hug (ハタフライハグ)



Research Papers:

・ Helping Child Flood Victims Using Group EMDR Intervention in Argentina: Treatment Outcome and Gender Differences. (アルゼンチンにおける集団 EMDR 介入を用いての子どもの洪水被害者支援：治療効果と性差) Aduriz,M.E. Bluthgen,C., Knopler,C.(2009) *International Journal of Stress Management*,16(2) 138-152.

・ Programme for Trauma Therapy of Tsunami Victims in Aceh. (アチェにおける津波被害者のトラウマ治療プログラム) Sodemann, U. & Bumke, P.J.2010,

・ The EMDR Integrative Group Treatment Protocol: Application with Child Victims of a Mass Disaster. (EMDR 統合集団治療プロトコル：巨大災害での子ども被害者への適用) Jarero I. Artigas, L., Montero, M. & Len, L. *Journal of EMDR Practice and Research*, 2008,2(2) 97-105.

(Francine Shapiro 提供)

・ EMDR in India, (インドでの EMDR)

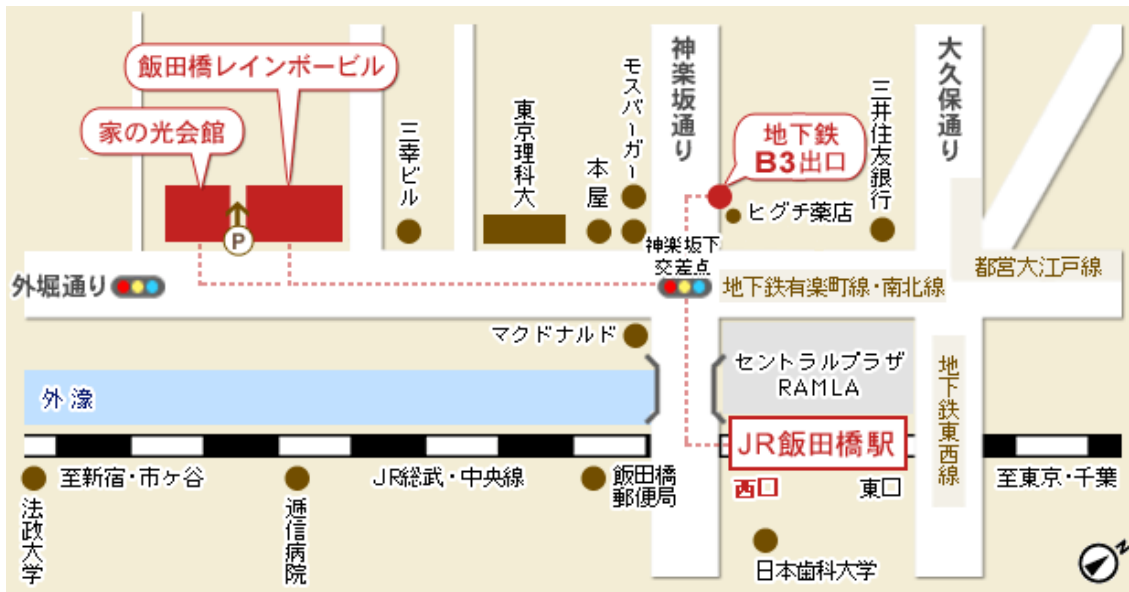
・ Group EMDR with Earthquake Survivors. (地震のサバイバーとの集団 EMDR) 2010, Bhagwagar, H. , Asian EMDR Conference, Bali.

・ Impact and expression of trauma in children exposed to the earthquake. (地震にさらされた子どものトラウマのインパクトと表現) Tank, P.

(EMDR Asia 会長 Sushma Mehrotra 提供)

学術大会・ワークショップ会場（飯田橋レインボービル）

JR 総武線、地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線の各線が交差する飯田橋駅から徒歩約5分～7分。JR中央線・総武線の車窓からも見えるわかりやすいビルです。



懇親会会場（日本出版クラブ会館）



5月13日(金) 飯田橋レインボービル 9:30-17:45

大会議室 (7階)		C会議室 (1階)		D会議室 (1階)	
9:30-9:40 (10分)	理事長あいさつ				
9:45-10:35 (50分)	両側性刺激の脳神経学的研究 演者: 天野玉記	9:45-10:10 (25分)	脱感作段階 元のターゲット 演者: 荻野友貴子、福井義一 司会: 市井雅哉	9:45-10:10 (25分)	がん化学療法 EMDR の応用 演者: 中口智博、奥山徹 他 司会: 野呂浩史
	司会: 吉川久史				
10:45-12:00 (75分)	EMDR と PE をどのように使い分けるか 演者: 井上直美、荒川和歌子 他	10:20-11:10 (50分)	娘の死によりPTSDを発症した男性にEMDRを適用した事例 演者: 原田憲明 司会: 大澤智子	10:20-11:10 (50分)	末期癌と診断された50代女性へのEMDR 演者: 福井麻由 司会: 中口智博
	司会: 福井至				
		11:20-12:10 (50分)	眼球運動が否定的な自伝的記憶の想起に与える効果について 演者: 吉川久史、市井雅哉 司会: 幸田有史	11:20-11:45 (25分)	発表取り消し
				11:55-12:20 (25分)	紫外線と皮膚 EMDR 演者: 上田英一郎、山西清文 他 司会: 福井義一
12:20-13:20 (60分)	総会				
13:20-14:10 (50分)	EMDR における再処理過程で出現した自我状態に対する介入 演者: 福井義一	13:20-13:45 (25分)	サイクロン被害 子どもの支援 演者: 吉岡春菜 司会: 小林正幸	13:20-14:10 (50分)	殺意を伴う怒りに対する EMDR 演者: 新井励、根本清貴 司会: 太田茂行
	司会: 仁木啓介				
		13:50-14:15 (25分)	非行少年事例群 演者: 土持さやか 司会: 柴田健		
14:20-15:10 (50分)	ソーシャルスキルが未熟な患者へのEMDRを中心とする心身統合的アプローチ 演者: 福山絵美、井上直美	14:20-14:45 (25分)	エゴ・ステイトを使用した怒りの処理 演者: 近藤千加子 司会: 北村雅子	14:20-15:10 (50分)	統合失調症と診断された女性との安全な場所づくり 演者: 牧野有可里 司会: 菊池安希子
	司会: 有村達之				
15:20-16:20 (60分)	教育講演: 子どもとトラウマティック・ストレス: 発達の視点から 演者: 紀平省悟				
	司会: 白川美也子				
16:30-17:45 (75分)	震災関連特別セッション: EMDRを用いた災害支援の方向性: JAPAN-HAP 立ち上げ				

振り込み例

振込先 みずほ銀行十条支店（支店No.200）
 普通預金口座番号 1926104
 加入者名 日本EMDR学会第6回学術大会準備委員会 福井至

1) 会員(事前申込)		2) 被災関連者		3) 非会員(社会人)		4) 非会員(学生)	
学会、 継続 研修、 懇親 会 に参 加	学会費 8,000円 →割引 後 継続研修 8,000円 懇親会 6,000円 ----- 合計 21,000円	学会費 4,000円 継続研修 0円 懇親会 3,000円 ----- 合計 7,000円					
学会、 継続 研修 に参 加 の場 合	学会費 8,000円 →割引 後 継続研修 8,000円 ----- 合計 15,000円	学会費 4,000円 継続研修 0円 ----- 合計 4,000円					
学会、 懇親 会 に参 加	学会費 8,000円 懇親会 6,000円 ----- 合計 14,000円	学会費 4,000円 懇親会 3,000円 ----- 合計 7,000円	学会費 9,000円 懇親会 6,000円 ----- 合計 15,000円	学会費 5,000円 懇親会 6,000円 ----- 合計 11,000円			
継続 研修、 懇親 会 に参 加	継続研修 8,000円 懇親会 6,000円 ----- 合計 14,000円	継続研修 0円 懇親会 3,000円 ----- 合計 3,000円					
学会 のみ 参加 の場 合	学会費 8,000円 ----- 合計 8,000円	学会費 4,000円 ----- 合計 4,000円	学会費 9,000円 ----- 合計 9,000円	学会費 5,000円 ----- 合計 5,000円			
継続 研 修の み 参加	継続研修 8,000円 ----- 合計 8,000円	継続研修 0円 ----- 合計 0円					

学会と継続研修の両方にお申し込みの場合に限り、通常16,000円のところを特別料金15,000円でご参加いただけます。ただし、懇親会費は別途必要になります。

会員の学会当日参加費は9,000円です。継続研修に併せてご参加いただいてもセット割引はございません。

被災関連者とは、岩手県、宮城県、福島県に住居もしくは職場のある方です。

非会員の参加希望者は、メールにて事前申し込みをしてください。
 審査の結果、参加の可否が決まってから入金をしてください。